



SHIGA, NAGAHAMA
Guide to internal migration

滋賀・長浜
移住の手引き



長浜へのいざない

ENJOY NAGAHAMA LIFE

この地で暮らすということ



「どうして長浜へ？」

ここで暮らすことを決めた人たちに尋ねると、
いろいろな答えが返ってきます。

『自然が豊か』『琵琶湖がある』『交通のアクセスがいい』

でも、いちばん多い答えは「人」のような気がします。

すれ違えば当たり前のようにかけあうあいさつ。

雨の日も暑い日も、

交差点で子どもたちの登下校の見守り。

ようさん採れたしと、おすそわけしてくれる野菜。

長浜は、人と人との距離が近くにありま。

それは、神仏とともに拝み、お互いを信じて、

助け合って生きてきたから。

そういう人たちの営みが、

今のこの地の暮らしか景色に表れています。

そんな暮らしか景色の一端をまとめました。
あなたを長浜暮らしへいざないます。

目次 Table of contents

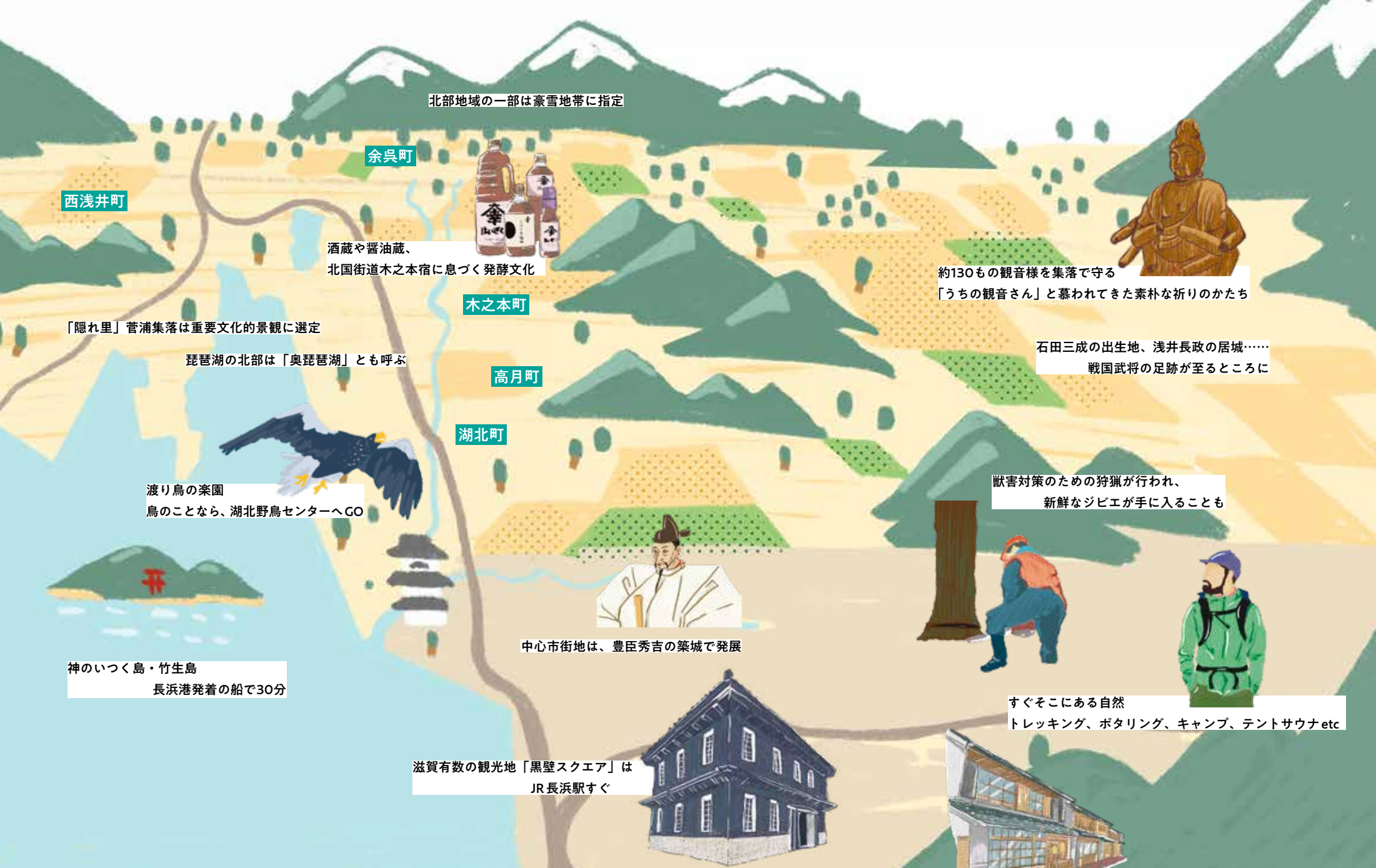
| | |
|----------------------------|----|
| どうして長浜へ？ | 3 |
| 市概要 MAP | 4 |
| 長浜風土記 | 6 |
| 移住の流れ | 8 |
| 移住者紹介 1 松井伊佐雄さん 咲子さん | 12 |
| コラム ライフスタイル | 14 |
| 移住者紹介 2 清水元幾さん 弓江さん 菜々華ちゃん | 18 |
| コラム ワークスタイル | 20 |
| 移住者紹介 3 野原淳平さん 葵さん 紡くん | 22 |
| コラム 地域コミュニティのかたち | 24 |
| 移住者紹介 4 佐藤大樹さん 船崎桜さん | 26 |
| 長浜で暮らすをサポート | 30 |

NAGAHAMA

長浜市ってどんなところ？



滋賀県北部に位置することから、湖北地域とも呼ばれ、市域面積は県内では2番目の広さになります。市内は、山間地、田園地帯、市街地、琵琶湖岸域と分かれ、それぞれに特色と魅力が。まずはぐるっと回って、お気に入りのエリアを見つけてみてください。



北部地域の一部は豪雪地帯に指定

余呉町

酒蔵や醤油蔵、北国街道木之本宿に息づく発酵文化

木之本町

約130もの観音様を集落で守る「うちの観音さん」と慕われてきた素朴な祈りのかたち

石田三成の出生地、浅井長政の居城……戦国武将の足跡が至るところに

高月町

西浅井町

「隠れ里」菅浦集落は重要文化的景観に選定

琵琶湖の北部は「奥琵琶湖」とも呼ぶ

湖北町

渡り鳥の楽園鳥のことなら、湖北野鳥センターへGO

獣害対策のための狩猟が行われ、新鮮なジビエが手に入ることも

中心市街地は、豊臣秀吉の築城で発展

神のいつく島・竹生島長浜港発着の船で30分

すぐそこにある自然トレッキング、ボタリング、キャンプ、テントサウナetc

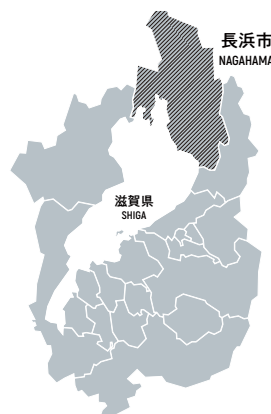
滋賀有数の観光地「黒壁スクエア」はJR長浜駅すぐ

人口 115,009人 世帯数 47,320戸
面積 681.02㎡

- 病院…………… 4 施設
- 保育所…………… 公立 3 園 / 私立 5 園
- こども園…………… 公立 9 園 / 私立 4 園
- 幼稚園公立…………… 8 園
- 小学校公立…………… 23 校

長浜市の概要と各種施設
(令和5年1月1日)

DATA



京阪神・東海圏からのアクセス良

古くから交通の要所であり、京の都と北陸を繋いだ北国街道と協往環が市を縦断している。現在に至ってもアクセスの良さが自慢。

新快速なら (JR長浜駅着)

→新大阪駅から約1時間40分 / 名古屋駅から約1時間30分

車なら (長浜IC着)

→吹田ICから約1時間20分 / 名古屋ICから約1時間

第一次産業の現在

稲作を主とする農家が多いが、近年は有機栽培米・野菜づくりに取り組む若い世代も増えている。

漁業、林業は若手後継者が圧倒的に不足しているなかで、自伐型林業をめざし、着任する地域おこし協力隊もいる。



秋

red & yellow

晩秋の大地のエネルギーを探访



〈実りのおいしさ。紅葉の美しさ〉



鶏足寺

最澄が再興し、山岳仏教の聖地として名を知られた己高山にある寺院の一つで、落葉が参道を埋め尽くす様はレッドカーペットのよう。



寒さとともにある、生活の知恵、遊びの楽しさ



〈漬物、味噌、日本酒、仕込みのシーズン〉

冬

prayer



オコナイ (上: 木之本町古橋、下: 同町杉野)

冬の長浜の独自の神事。五穀豊穡を祈願するので、集落ごとに様式が異なります。祈りの心とともに、人々の結束が継承されてきました。



歴史と伝統を伝える祭礼行事

春

festival

〈野山の芽吹きをぜいたくさ〉



長浜曳山まつり

動く美術館とも評される絢爛豪華な曳山が、中心市街地を巡行。曳山に設けられた舞台の上では男児による子ども歌舞伎を上演。



須賀の祭

隠れ里ともいわれ、国の重要文化的景観に選ばれてもいる菅浦集落での須賀神社春季祭礼。長い参道を3基の神輿が渡御される様子は壮観。



琵琶湖のごちそう

旬があるのは野菜だけではありません。琵琶湖の魚も季節ごとに獲る種類が異なります。夏を代表するのが「コアユ」や琵琶湖のトロともいわれる「ピワマス」。

長浜風土記

NAGAHAMA
FUDOKI

長浜暮らしは、季節とともに暮らすこと。山や湖、人の営みには、巡る四季に合わせて、彩り豊かな景色が広がります。暮らすうちに、その景色の中に自分も加わっていくのです。長浜で味わえる春夏秋冬の「旬」のほんの一部をご紹介します。

〈琵琶湖の魚にも旬がある〉

cool & refresh

夏

琵琶湖はもちろん。すぐそこにある水辺



TO LIVE IN NAGAHAMA



移住までの

手順

SHIGA, NAGAHAMA
Guide to internal migration



～空き家バンク制度を利用して長浜暮らしを実現する～

STEP 暮らしのイメージをかためる

1

住みたいエリア、物件をどのように手に入れるか、誰と暮らすか、何を仕事にするか——。実際の暮らしを想定してみましょう。

【空き家バンクとは】

長浜市移住定住促進協議会が管理・運営する、市内の空き家活用制度。専門員の調査を経てバンク登録された物件を購入・賃貸できる。

ナガハマキャピタル

<https://www.nagahama-capital.net>



POINT

具体的に物件を選ばなくても、イメージや希望を伝えるかたちでもOKです。メールのほか電話や対面での相談もできます。

POINT

修繕が必要などところは要チェック。敷地の周囲もめぐって集落の雰囲気も把握するとベター。

STEP 空き家バンクで物件を探す

2

ナガハマキャピタルのサイトでは、空き家バンク登録物件がすべて公開されています。気になった物件があれば、物件番号を記載してメールで問い合わせを。売買（賃貸）金額や間取りなど詳細情報をお届けします。

STEP 物件を見学する

3

百聞は一見にしかず。物件の状態や周囲の景観などがはっきりし、具体的な暮らしのイメージが描けるはず。

STEP 所有者面談

4

購入の意志が固まれば、いよいよ所有者と面談。売買価格や家財処分などについて、取り決めを進めていきます。

STEP 自治会面談

5

空き家バンクの物件を売買（賃貸）する場合、該当地の自治会に加入します。自治会長から決まりごとの説明を受けます。

【長浜市の自治会について】→P24

STEP 契約！

6

司法書士の仲介のもと契約を交わします。

POINT

米や野菜づくりがしたい！
バンク登録物件に農地が付随していれば、市の農業委員会への申請を経て所有が可能。（一定条件あり）コンバインなどの大型農業機械は、共有できる仕組みを作っている集落もあるので、自治会面談のときに聞いてみましょう。

POINT

2拠点居住や事業所として物件を活用するパターンもOK。

Adviser & Concierge
私たちがお手伝いします



空き家アドバイザー 大森 敏昭さん

空き家の診断を行う専門家。所有者から依頼を受けて、空き家を調査し、活用可能な物件を空き家バンクに登録・公開していきます。



移住コンシェルジュ 久保田 誓さん 矢島 絢子さん

長浜に移住したい人の相談に乗り、実現までをサポート。移住希望者と所有者や自治会の間に立ち、調整を行います。STEP 2～6までの工程にはすべて立ち会います。





KEYWORD #開業 #セカンドライフ

case

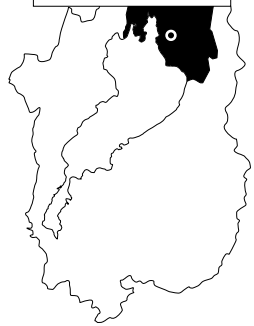
01

水辺で出会ったオオワシと琵琶湖
蕎麦店を通じて地域を発信

兵庫県宝塚市



長浜市高月町片山



DATA 松井伊佐雄さん 咲子さん

移住した時期：2020年8月

仕事：古民家で蕎麦店を営む

移住のきっかけは？

伊佐雄 水のそばで暮らしたくて、琵琶湖を自転車などで一周する「ピイチ」を友人から教えてもらったことをきっかけに、滋賀で物件探しを始めました。湖岸沿いの雑草が綺麗に刈られて整備されている光景に、感心したので覚えています。

咲子 今住んでいる片山集落近くの山本山は、国の天然記念物・オオワシが毎年飛来する場所。それを知らずに物件探しに訪れたので、バズーカのような大きなレンズを抱えて写真を撮る人たちの姿に驚きました。双眼鏡を覗かせてもらったら、オオワシが旋回してくれたんです。オオワシとの出会いと、この物件からの眺めのすばらしさが長浜を選んだ大きな理由です。

リノベーションの苦労は？

咲子 2020年3月〜8月は宝塚市から車で3時間かけて通って、リノベーションしました。まずは庭作りから。埋まった石やワイヤーを夫が掘り起こしたら、埋もれていた池や石の小道も出てきてびっくりしましたよ。昭和30年代に建てられた母屋は、最初に依頼した職人さんが途中で「難しくこれ以上できない」とリタイア。困っていたところ、腕のいい地元の左官屋さんが仲間を集めて何とかしてくれました。内装は古民家特有のベンガラ塗の朱色の柱が目立ったので、「大正ロマン」をテーマに整えました。



伊佐雄 節約のためにも、自分でできるところは自分でやりましたよ。梁の塗り直しや、机の脚なんかも手作りしました。

2020年12月、蕎麦店「伊と咲」を開業しました。

伊佐雄 勤めていた製菓会社を56歳で早期退職。趣味だった蕎麦打ちで定年後はお店をしたいとの思いがあり、東京で修業を積み、移住、開業に至りました。開業資金は貯蓄から。経営の勉強として、長浜市が無料で開催している「実践ながま・こほく創業塾」に参加しました。長浜



市は資金面も含め、起業関連の補助事業が手厚いと感じます。店名は、私と妻の名前から1文字ずつ取っています。蕎麦はすべて十割蕎麦で、蕎麦粉は質の良いものを使うために数ヶ月ごとに変えています。また、片山の漁師さんから琵琶湖の手長エビを安く分けてもらい、天ぷらにして出していますよ。

「片山しゅんげーき」など、メニューの名前に集落名が！
伊佐雄 片山集落の戸数はわずか22軒。高齢者も多いなか、地域のにぎわいづくりに関わっていききたいんです。

「移住してよかった」ことは？

咲子 365日24時間、夫と一緒にいられること！ いい景色、いい空気の中で一緒に暮らせるのはうれしいです。一目惚れしたオオワシが近くにいることもうれしい。「オオワシがあそこ木にとまっている」と情報が入るたびに、双眼鏡を持ってお店を飛び出す毎日です(笑)。



移住者がつくる居場所と発信のかたち



昌史さんと船崎桜さん (p26) ら長浜への女性移住者8名で制作した冊子も発行

戦国時代の合戦の舞台にもなった賤ヶ岳。この麓へ移住し、築350年以上とされる立派な古民家で「丘陵喫茶店」を開いたのが、森下諒平さん、堀江昌史さん夫妻。(右)

旬の野菜や琵琶湖の魚、手作りの漬物やこの地ならではの保存食を盛り込んだ季節を感じるランチがメイン。お米は、諒平さんが近くの住民から米づくりを一から教わり育てた無農薬のコシヒカリで、漬物や湖魚のなれずしは昌史さんが地元のお母さんたちなどから伝授してもらったもの。

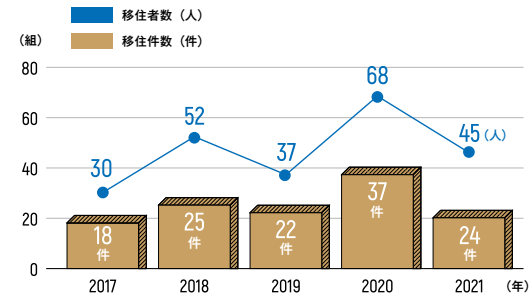
さらに昌史さんはここで一人出版社「能美舎」を立ち上げ、長浜ならではの書籍づくりにも取り組んでいます。

長浜市の空き家バンクを通じて住まいを購入（賃貸）して移住した人は、2020年度には37件68人、2021年度には24件45人でした。

古民家に住みたい！

田舎暮らしの重要キーワード「古民家」。明確な定義はなく、日本の伝統的工法で建てられた築50年以上の家を指します。

長浜市は、雪以外の災害が少ないため、状態のいい古民家が多く残っています。築100年超のかやぶき屋根や、雪の多い北部エリアには、屋根の傾斜が急な形状の家屋もあります。物件の売買金額や必要な修繕の規模はさまざま。物件を手に入れた人は、コソコソとDIYをしたり、業者と相談を重ねて改築したりしながら、十人十色の「我が家」を作りあげています。そんな家作りの過程を楽しむのも、古民家に暮らす醍醐味の一つです。



LIFE STYLE



Childcare & Information 子育て応援！ 長浜の独自支援



ながまるキッズ! はアプリでも配信。

詳しくはこちらから



- 1 子育て応援サイト・アプリ「ながまるキッズ！」
市内の子育てに関する最新情報を網羅。健診・予防接種のスケジュール管理や、パパママ・リフレッシュ託児の簡単予約も可能。
- 2 子育て応援めーる
子育てイベント情報、支援制度など月2回配信。
- 3 第2子以降保育料軽減
第2子半額、第3子以降無料。
- 4 小学校1年から外国語活動の授業を実施
- 5 小学校での給食費を市が全額補助
「市民で支える小学校給食費補助」制度。





東京都江東区



高校生まで長浜市で暮らしていたそうですね。



DATA

清水元幾さん 弓江さん 菜々華ちゃん

移住した時期：2021年4月

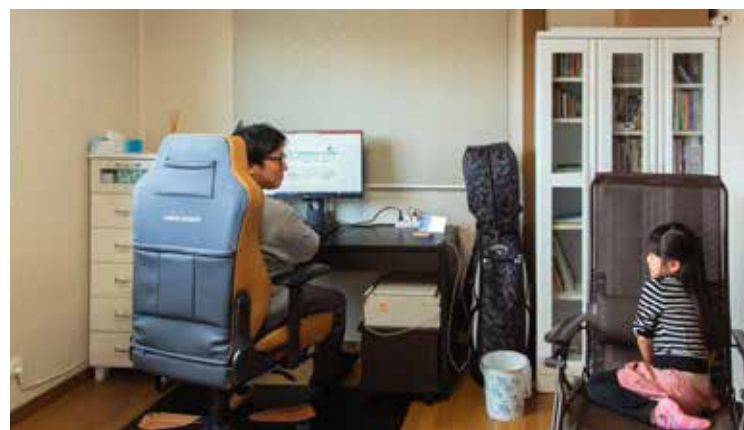
仕事：(夫) 移住前からの仕事をリモートワーク+月数回の通いで継続

(妻) 移住前からの仕事をリモートワーク

元幾 祖父母宅が長浜中心市街地にあり、幼いころは長浜曳山祭の子ども歌舞伎の役者として参加したこともありました。大学進学後は東京で暮らしていたので、長浜は24年ぶり。もともとは、Uターンをするつもりはなかったんですが、親が高齢になり、子どもや孫が近くで暮らすことで安心や楽しみになればと、親孝行の一環として戻ってきました。

東京の企業にそのまま勤務されています。

元幾 コンサルタント会社の「グラフィス・アーキテクト」(東京)に勤務し、公共機関へのITコンサルティング



ングを行っています。

数年前、出張で東京と札幌を往来する生活をした経験から「滋賀とも行き来できるんじゃないか」と感じて。コロナ禍に伴い、仕事ではリモートでのやりとりが当たり前になってきたため、月に何度か東京に通えば、あとは自宅ですら仕事ができる判断して、移住を決めました。「住む地域に関係ない質の高い仕事」と「自分らしい生き方」の両立を会社が支援してくれたことも後押しになりました。実際に、オンラインとオフラインを使い分けながら仕事をしていて、支障はありません。家事や育児にも以前より参加できる環境になりました。

弓江さんも長浜への移住に抵抗はなかったそうですね？

弓江 北海道出身なので、東京よりも合っているかなと思います。すれ違ったら知らない人とも挨拶するような、そんな人間関係がある方がいいな、と。住環境も良くなりました。東京ではマンション暮らしで、娘の走り回る音や大きな声に気がちでした。今暮らすのは夫の実家であった一軒家で、敷地も広く、夏には駐車場に大きなプールを出して水遊びも。神経質にならずのびのび暮らせています。



さらに車生活になって、買い物や遠出が楽しいですね。

菜々華ちゃんの変化がありますか？

弓江 東京で通っていたのはマンションの1階に入っている保育園。長浜では広い庭と遊具がある幼稚園に通っていて、外で思いきり遊ぶのが楽しいみたいです。近くに大きな公園もあり、自然に触れる機会も増えています。芋掘りや草花で遊ぶなど、東京ではなかなかできなかった経験ができています。

元幾 東京ではいつも同じ公園、同じスーパーに行っていたのですが、長浜ではいろいろな場所に連れて行くことができ、娘自身の好奇心が強

くなってきた感じがします。おじいちゃん、おばあちゃんにもよく会えるようになり、親以外のコミュニティケーションが増やしました。子どもは慣れるのが早くて、すでに関西弁を使い始めていますね(笑)。

東京と比べて生活の不便は感じませんか？

弓江 自宅から10分ほどの国道沿い買い物できる場所が多く集まっているのであります。車に乗ることが前提ですが、便利です。病院も10分ほどで行けます。生活のための動線が整っている街だなと感じます。

元幾 新幹線駅(米原駅)も我が家からは車で20分ほどなので、全国どこでもアクセスが良いと思います。

「移住して良かった」ことは？

弓江 歴史に触れられるところでしょうか。教科書に載っているような歴史の跡を実際に目で見られる。お城がこんなに近いところにある。外から来た人間としては、すごいなあと思います。琵琶湖という「日本一」があるのもいいですね。

元幾 久しぶりに戻ってきて、まだまだ知らないことばかりです。ここで暮らす楽しみを時間をかけて見つけていきたいですね。東京は住みやすいですが「自分の街」ではありませんでした。自分の街である長浜を、良くしていく活動も今後はできたらな、と考えています。



街でも、山でも、働ける暮らし



リモートワークやフリーランス、ワーケーションなど、場所に縛られない働き方の実現に必要なスポットが次々に誕生しています。自分らしく心地よく働くだけでなく、新しい出会いや発見が生まれる場所としても期待できそうです。特徴的な4つの施設を覗いてみましょう。

03 最北端の里山集落で大自然と共に
ワーク&ステイ

かみにゅう
ワーケーション拠点 上丹生山根邸
長浜市余呉町上丹生 2439 ☎ 0749-86-8008
利 用：予約制
宿泊利用も可（デユースは9時～22時）
定 休 日：不定休



01 築150年超の町家をリノベした
落ち着いた空間で集中

BIWAKO PICNIC BASE ビワコピクニックベース
長浜市元浜町 7-5 ☎ 0749-65-3935
利 用 時 間：9時～18時
定 休 日：不定休



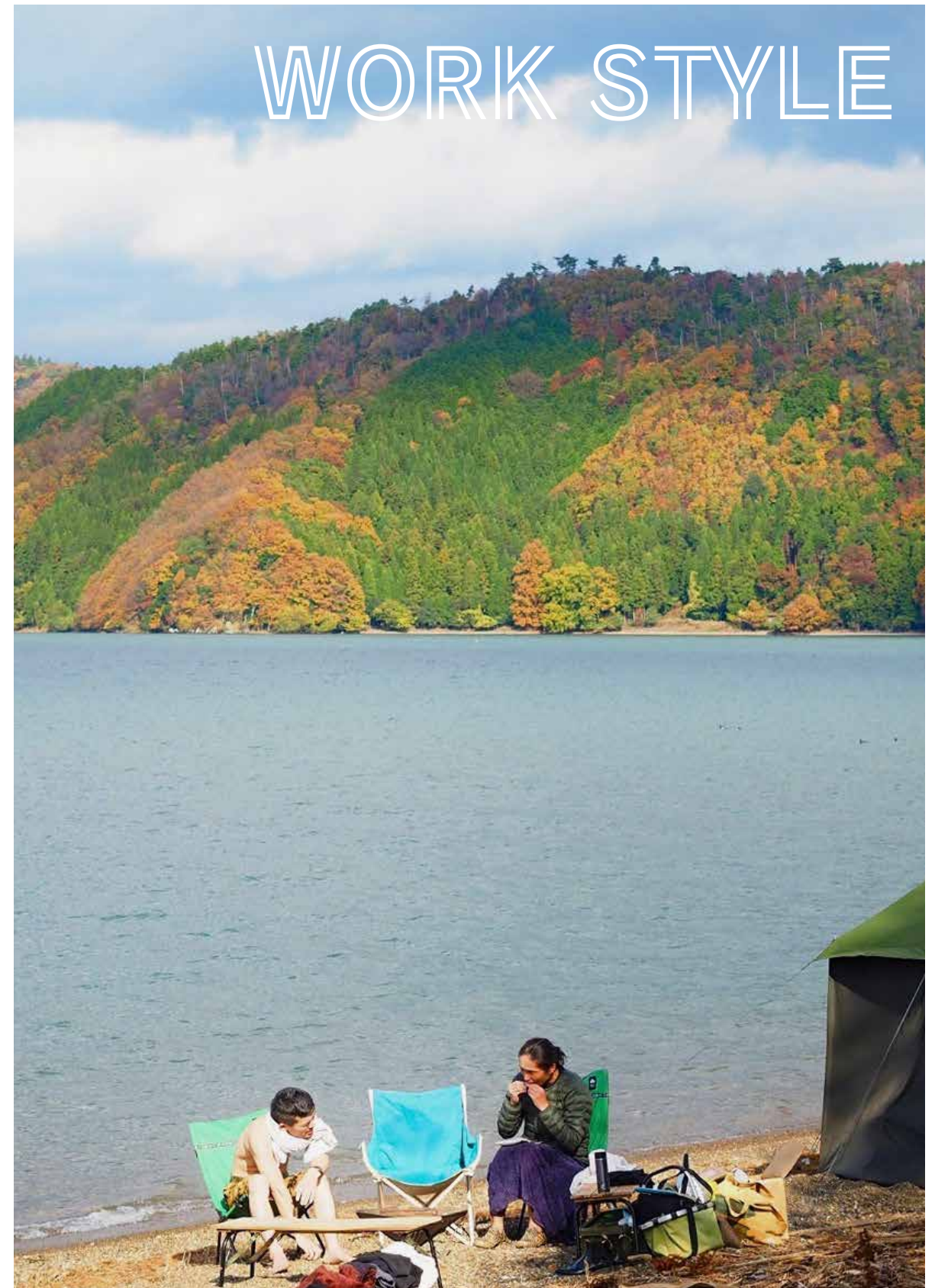
04 山に囲まれた源流の里で
遊びと仕事を両立

あそびば
ASOVIVA はなれ
長浜市野瀬町 615 ☎ 050-3000-0406
利 用：予約制（受け付けは平日のみ）
宿泊利用も可（デユースは9時～22時）
定 休 日：年末年始



02 カフェ併設の
古民家ゲストハウス

アマリ
古民家 ゲストハウス AMARI
滋賀県長浜市大依町748 ☎ 080-1604-4599(カフェ予約)
利 用 時 間：木・金・土（事前予約制、無料Wi-Fi有）
宿 泊：紹介予約制
（右 QR / instagram:@amari_nagahama）
定 休 日：不定休（instagram:@cafe_santoco）





2020年1月から片付けや掃除を始めました。毎週通って、親や兄弟にも手伝ってもらって。最初は「こんな家買って大丈夫か」と心配されましたが、完成したら喜んでいましたね。田の字型の畳の4部屋、水回り、土間などを業者さんにお願いしました。シロアリ被害や全体の傾きもあったので、基礎も一部打ち直しました。

古民家の怖いところは、リフォームの規模感がわかりづらいところ。でも良い業者さんだったので、予算にしっかり合わせてくれました。「古民家をもっとの姿に戻したい」という気持ちがあり、後から改築された部分のリフォームもしました。古くなくても味が出るように、新建材をなるべく使わずに。

葵 逆に、キッチンは新しいアイランド型のもの。最初はイメージが湧かず合うのか心配したのですが、置いてみたら新しいものでもしっくりくる空間になりました。



**豊かな自然と
ご近所づきあいを楽しむ**

淳平 仕事は、移住前と同じ岐阜県の商工会職員です。現在の通勤時間は車で35分ほど。毎朝伊吹山を眺めながらのドライブで、負担は感じません。

葵 保健師の資格をもち、長浜では市の関連業務に従事しています。地域を知ることができると仕事なので、自然と近所の方との距離も近くなってきました。歴史のある地だからか、住んでいる人が地域を大事にしていると感じます。商業施設、遊び場、自然が近い場所にあるため、移住前よりも親しみをもって、居心地



が良いです。

淳平 バイクが趣味で、夏は朝4時に起きて湖岸を走り、琵琶湖ではカヤック。息子が大きくなったら、自転車で湖岸を走りたいですね。外遊びが好きな人にぴったりな環境です。「田舎暮らし」がいいけど、それなりに生活しやすい場所を求めている人にはおすすすめです。

葵 子育てでは、アパート住まいと違って近所の方とたくさん関わりを持つのもいいですね。手が離せないときに「子どもを見てあげようか」と預かってくださることも。自然豊かな環境で、以前は土のついたジャガイモにも触れなかった息子は、ダンゴムシにも触れるようになりました。

淳平 実は、まだ家は完成ではないんです。2階は何も手を入れていないので、壁を塗ったり子ども部屋を作ったり、住みながら家を作っていくとワクワクしています。新築の家を建てるのと同じように、古民家を直して住む選択も「あり」だと思っんです。自分の代でこの家の直せるところを直して、また数十年後に違う誰かが住んでくれたらなと思っています。

case 03

住みながら作る理想の古民家

アウトドアも満喫

岐阜県瑞穂市



長浜市田町

岐阜の
アパートから
築15年の古民家へ



DATA 野原淳平さん 葵さん 紡くん

移住した時期：2020年12月

仕事：(夫) 移住前からの仕事を継続

(妻) 保健師として長浜で就職

淳平 学生時代から京都の町家カフェが好きでした。仕事で古民家専門の不動産屋さん知り合ったことをきっかけに、夫婦で物件を探し始めました。移住前は、岐阜県瑞穂市でアパート暮らしでした。

葵 物件探しのなかで長浜市の空き家バンク制度を知り、2018年の空き家見学ツアーに参加。紹介された一軒がこの築15年のお家でした。私も昔から古道具などの古いものが好きで、古民家は再現できない歴史の積み重ねがあつて、建てた人の想いも感じます。空き家なのは、もったいないですよ。



淳平 岐阜でも古民家を探したのですが、滋賀は子ども時代に琵琶湖へキャンプに来るなご思い出のある地。最終的には琵琶湖に近く、駅もすぐこの場所に決めました。長浜市の移住サポートが他の自治体よりも手厚く感じたことも理由の一つです。



KEYWORD #通勤 #趣味 #家族 #古民家セルフビルド

協議会の数 (学区単位などで構成)

24

該当地域のボランティア団体や民生委員、社協などから構成され、地域住民が行政と連携しながら運営。

こんな取り組みしてます

高齢世帯に向けた買い物支援、子ども食堂の運営、特産品開発など。

さらに自治会単位では解決がむずかしい困りごとが、地域の特性に応じて生じることがあります。それらの解決をめざし、周辺の団体が一体となって取り組む組織として「地域づくり協議会」があります。

地域づくり協議会



自然を生かした遊び場づくりの取り組み



夏休みの学童保育は、地域内にある川で涼を満喫

case 高時地区地域づくり協議会の場合

放課後児童クラブや長期休業中の学童保育を協議会で運営。子どもたちの指導にあたるのは、地域内から集まったボランティア住民。きっかけは周辺に同様の施設が不足し、仕事をもつ保護者が頭を抱えてしまっていたからでした。「では自分たちでやろう」と始動。さらに誰もが遊べる居場所をつくらうと荒地の整備を計画。住民参加型の取り組みで、結婚を機に同地域に住み始めた市外の人、移住者なども加わり、みんなの意見を取り入れながら、作業が進められています。高齢過疎化が深刻な地域ながら、活気にあふれ、さらに移住者が移住者と呼ぶサイクルも生まれています。

移住した方には、困ったときには助ける、必要以上のおせっかいは焼かない、を心がけています。

高時地区地域づくり協議会
奥村宏明 事務局長



高時地区地域づくり協議会
池田金夫 R3年度 会長

外からやってきた人ならではの視点にハッとさせられることも！

COMMUNITY

SHIGA, NAGAHAMA
Guide to internal migration

自治会

移り住んで良かった！と思える地域に

長浜市には「自分たちの地域を良くしていこう」と住民みずから活動する地域コミュニティが多くあります。そのもつともベースとなる組織が自治会といえます。こうした自治会活動や近所づきあいを、めんどくさい、わずらわしいと思う人もいます。ただ、もしも大きな災害が起こったら……。近所さんとの日頃のお付き合いが助け合いの輪を生むでしょう。また地域の目が、子どもを犯罪から守り、高齢者を支えることにつながります。そこに暮らす人同士の絆があるからこそ、育まれるものがあります。



自治会って何するの？

自治会は、自分たちの住む地域のルールを自分たちで決め、守り、より良くしていこうと取り組む組織です。具体的な活動については下記に紹介していますが、あくまで参考例であり、高齢者世帯が多い、子どもの数が少ないなど自治会の構成によって注力することが異なることもあります。「こんなにたくさん活動できるかな」と不安が伴うかもしれませんが、自治会活動はすべてに参加の強制力が働くわけではなく、「できない」「都合が悪い」場合のルールが設けられていることが多いです。ここに住んで良かった——そう思えるように、自分ができることを、近所の皆と一緒にやって、取り組んでいきましょう。



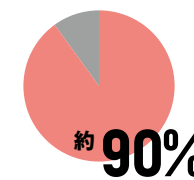
主な活動

- 住民同士の親睦や交流を深めるための活動
…高齢者サロンでのレクリエーション、子ども会
- 地域の課題解決するための活動
…自主防犯（防犯灯などの設置）・自主防災（自警団や消防団）・交通安全活動、環境保全活動、里道の管理・一人暮らし高齢者の見守りなど

自治会の数 (令和4年1月現在)

429

長浜市の世帯における自治会加入率



規模数としては、多いところで700世帯以上、少ないところで10世帯未満



不便な地？
「よつあんなら来はったわ」
大見に越してきたとき、地元の人からそんな風に言われたといひます。高時川の上流部で、川に沿うように形成された谷間の集落。夏は涼しいけれど、冬は豪雪地帯並みの積雪。ここに長く住む人の子どもだつて「不便だから」と離れていく、そんな地ゆえの言葉でした。



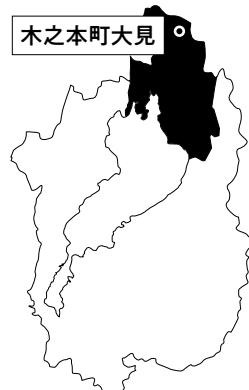
それでも集落の人たちは、若いこの夫婦が手に入れた家の修繕を引き受けてくれ、玄関先には毎日のように野菜、煮物、漬物、お菓子をお願いしていただきます。集落の皆の心配と気遣いとやさしさの、無言の形がこんな差し入れなのです。
夫妻はここに住み始めて、犬を飼いはじめました。家の前に植わった木にちなんで名前は「マツ」。マツと夫妻が集落を散歩する姿は、すっかり大見の日常風景になっています。



DATA 佐藤大樹さん 船崎桜さん

移住した時期：2021年8月
仕事：(夫) 長浜で会社員として就職
(妻) 地域おこし協力隊

「うんじゃない」
東京住まいをそう結論づけた夫婦がたどりついたのは、限界集落でした。佐藤大樹さん、桜さん夫妻は、2021年夏に長浜市木之本町大見の築推定100〜150年の古民家を手に入れ、集落の最年少住民として暮らし始めました。
限界集落とは、品行の50%以上が65歳以上で社会的・経済的共同生活の維持が困難になりつつある集落のこと。大見集落は戸数18戸、住民のほとんどが高齢者夫婦もしくは高齢一人暮らしの集落です。



東京都23区

見えないものが見える地で

東京発 ↓ 限界集落着

限界集落への移住

大見以前
二人の経歴をたどってみると、大樹さんはシステム開発管理、桜さんは新聞記者を経てのIT企業の広報。東京暮らしの二人が出会い、2020年に結婚。共通の趣味は、散歩やレトロな喫茶店巡り。古くても大事にされてきたものを愛おしむ価値観が似ている、都会の過剰すぎるモノや情報に違和感を感じてきていました。
当時桜さんが閲覧していたのが、新聞記者時代の先輩のSNS投稿。古民家で営むカフェ、地域の人との交流…。その地は長浜。桜さんは記者時代の初任地が滋賀で、地域情報はインプットされていましたが、大樹さんにとっては縁もゆかりもない地。ただ、大樹さんは「テレビの地上波が届かない岐阜の山中」の出身で、山が遊び場だったことから、「むしろ田舎がいい」と、長浜での物件探しが始まったのでした。



田舎を生きる女たち

桜さんは長浜地域おこし協力隊に着任、移住促進をテーマに活動しています。近頃、長浜北部には、桜さんのような20〜30代女性が移住し、それぞれの得意分野を生かした暮らしをしています。
移住、地域おこし、聞こえはいいけれど、現実はその簡単な話にはいかない。田舎ならではの、女性ならではの悩みだつてある…。近頃、意気投合した彼女らは「リアルな田舎暮らし」を発信すべく「サバイブノートピア」という冊子を創刊しました。
桜さんもそのメンバーの一人として「限界集落ラブソディ」と題した身辺記をつづり、独自の視点で大見のことを綴っています。
移住した年の冬、長浜は近年まれにみる積雪量となりました。軒下に積もった1m級の雪を毎日のように除雪していた夫妻。
「私は強い信仰心を持ってこなかった人間だ。そんな私でさえも、人よりも自然が主役での生活では、「見えないもの」への祈りの気持ちが生まれてきたような気がする」
限界集落ラブソディの一節です。二人と一匹の抒情詩は綴られ始めたばかりです。







SHIGA, NAGAHAMA
Guide to internal migration